

ぐるり30

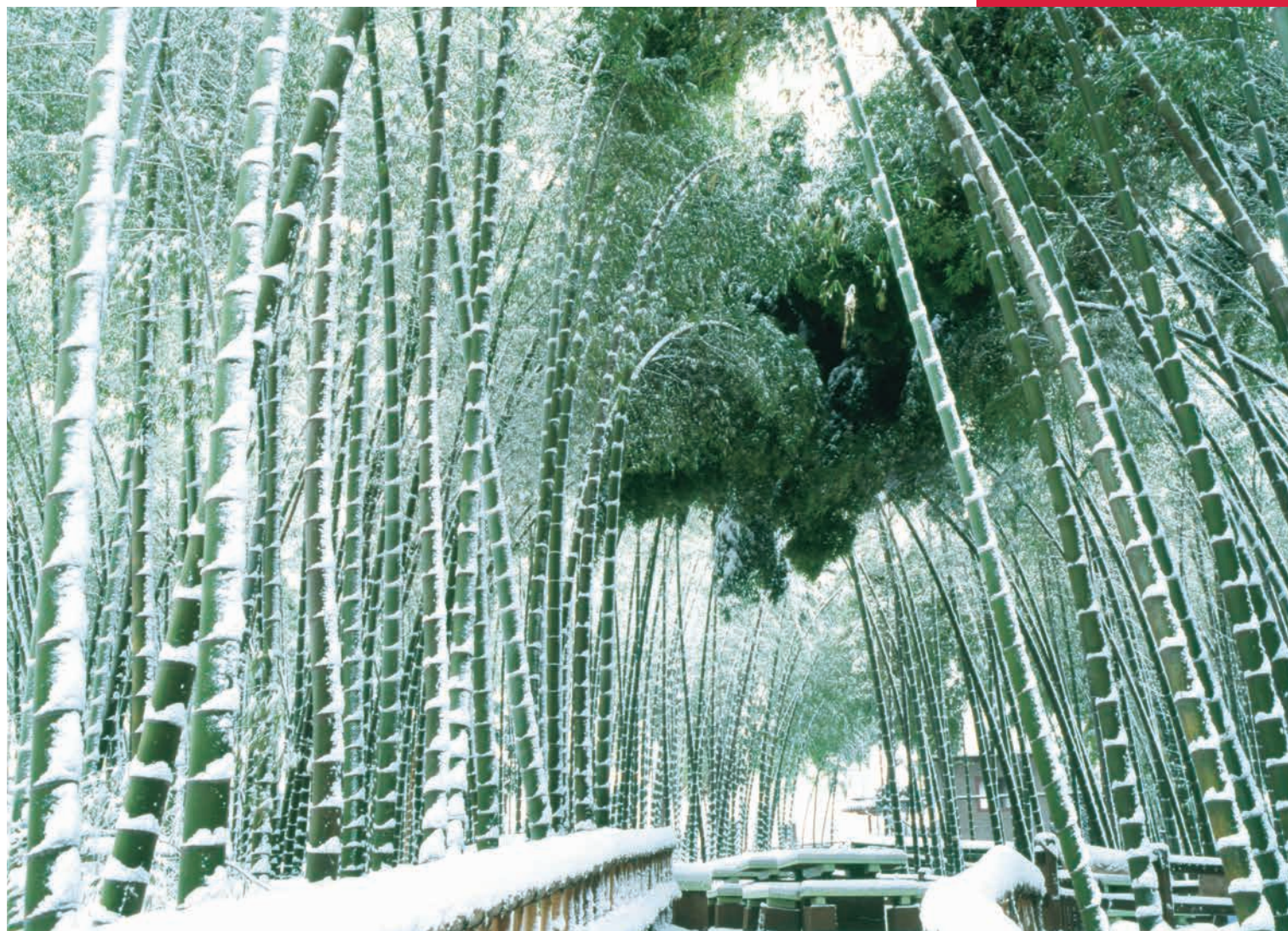
～自治調査会だより～

2017

1

NO. 040

[発行日]
2017.1.1



【写真提供】小松原昌男様（東久留米市在住）【撮影場所】竹林公園

- ▶ 調査研究結果発表シンポジウムを開催しました…………… 2
- ▶ 平成 27 年度 調査研究報告書の紹介
「創業による地域活性化と自治体による支援に関する調査研究報告書」… 3
- ▶ オール東京 62 市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介… 4
小平市 小平市地域エネルギービジョン推進事業
日野市 日野市環境かるた大会
(ふだん着で CO₂ をへらそう実行委員会)
利島村 公共緑地保全事業
- ▶ 多摩交流センターだより
・第 20 回 多摩の歴史講座 終了報告…………… 5
・多摩発・遠隔生涯学習講座 1・2 月開催予定の講座案内… 6
・東京雑学大学 2 月講義案内…………… 6
・TAMA 市民塾 日曜講座のお知らせ…………… 7
- ▶ 編集後記…………… 7
- ▶ とっておきスポット～“ココ”ご存じですか?～東久留米市… 8

Contents

1月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける 多摩・島しょ地域の可能性と展望に関する 調査研究結果発表シンポジウムを開催しました!

【平成28年10月19日 府中グリーンプラザ】

当調査会では毎年度、市町村の自治に関する調査研究を行っています。今回のシンポジウムは、昨年度の調査研究の結果を踏まえて、「未来に活かそう多摩・島しょ地域のレガシー」と題して、調査会設立30周年記念事業の一環として開催しました。



▲シンポジウムの様子

1. 基調講演

はじめに「多摩地域の軌跡とオリンピック・パラリンピック後の未来」と題して、首都大学東京 都市環境科学研究科 菊地俊夫教授の基調講演が行われました。講演では、多摩地域が①豊かな緑地や農地と都市的な環境が共存して残る世界でもまれな地域であること②その多摩地域の魅力を未来にわたって残し、地域の魅力として発信していく必要性の2点が述べられました。

2. 調査研究結果発表

続いて、当調査会が「2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける多摩・島しょ地域の可能性と展望に関する調査研究」の結果発表を行いました。ここでは、「スポーツ・健康」、「障害者」などオリンピック・パラリンピックを契機に、注目や関心が集まる状況を捉えて、それぞれの分野の取組につなげ、レガシーを創出することを提言しました。

3. パネルディスカッション

これまでの講演と調査研究結果発表の内容を踏まえ、「東京五輪が照らす多摩・島しょ地域の可能性と展望」と題してパネルディスカッションが行われました。

ここでは、基調講演をされた菊地教授をはじめ、障害

がありながらプロのボディボーダーとして活躍されたYUMIEさん、ルーマニア出身で日本に長く在住され、首都大学東京で教鞭をとっておられる佐々木リディア特任准教授、そして多摩信用金庫で多摩地域の振興に力を注いでおられる長島剛部長の4人のパネラーの間で活発な意見交換が行われました。パネルディスカッションの終わりに、多摩・島しょ地域の持つ地域資源を活かし、発展させていくための新たな視点として、「誰もが暮らしやすいユニバーサル社会の実現」とそれに向けた広域連携が提案されました。



▲パネルディスカッションの様子

4. リオデジャネイロオリンピック出場選手からのメッセージ

シンポジウムの最後には、特別ゲストとして、西東京市出身でリオデジャネイロオリンピック体操女子日本代表の宮川紗江選手からメッセージをいただきました。



▲特別ゲストの宮川選手

平成27年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号(No.32)で概要を紹介した平成27年度の調査研究報告書のうち、5件の単年度調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介していきます。今月号では、「創業による地域活性化と自治体による支援に関する調査研究報告書」を紹介します。

本報告書は、当調査会ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) からダウンロードできます。

創業による地域活性化と自治体による 支援に関する調査研究報告書

1. 背景・目的

産業競争力強化法に基づき、市区町村による創業支援事業計画を国が認定する制度が開始され、多摩地域でも既に22市が認定を受けています。(平成28年1月現在)

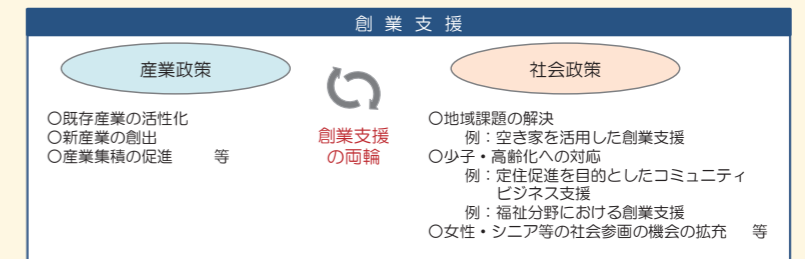
本調査研究は、対象業種・対象者など様々な角度から、市町村が創業支援を行う際の考え方を提示することを目的として実施しました。

2. 多摩・島しょ地域における創業支援の現状(市町村の取組状況)

(1) 創業支援の政策目的

- ・市町村の政策目的では「産業振興」や「雇用拡大」が最も多くなっていますが、「地域住民の生活の質の向上」や「地域のコミュニティづくり」なども挙がっています。

【創業支援の両輪～2つの政策目的】



(2) 創業支援の対象業種・対象者

- ・重点業種は「卸売業・小売業」が約2割で最多ですが、「重点業種なし」も約3割を占めています。また、「女性に限定した創業支援の取組」を約4割が実施しています。

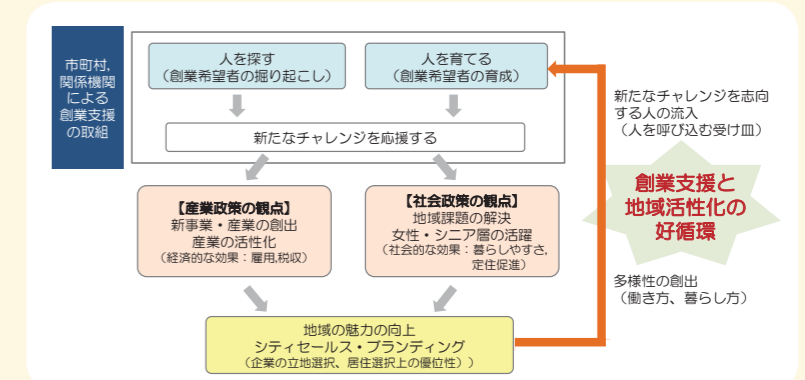
(3) 創業支援の「体制」と「役割分担」

- ・「連携組織を作り外部機関と連携」が約5割です。取組方法別では「セミナー等イベント」で9割以上が外部機関と連携する意向を示しています。

3. 創業支援の推進の考え方

多摩・島しょ地域における今後の創業支援の推進に向けて、「産業政策」と「社会政策」の両輪を踏まえた庁内横断的な取組、行政の主体的な関与などについての考え方を提示しました。

【多摩・島しょ地域が目指すべき創業支援と地域活性化の好循環】





オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト
市町村助成事業紹介

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

シーナ

かれん



本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本プロジェクトの助成金を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施されている事業を紹介します。

1 小平市

小平市地域エネルギービジョン推進事業

Tama 小平市

小平市では、東京学芸大学、工学院大学と連携し、環境学習の一環として、10月に小平第十二小学校で出前授業を行いました。「小平市民版環境配慮指針小平流暮らしの工夫」を基に、1回目は、東京学芸大学の学生が地球温暖化とその防止策として家庭で出来る省エネについて授業を行いました。2回目は、工学院大学の中島研究室と担任教諭が、小学校の屋上にある太陽光発電システムを使って、創エネについて授業を行いました。

今回の授業を通して、省エネや創エネについて、楽しく学ぶことができました。

【問合せ先】小平市 環境政策課 TEL:042-346-9818



2 日野市

日野市環境かるた大会(ふだん着でCO2をへらそう実行委員会)

Tama 日野市

日野市では、平成20年度から「ふだん着でCO2をへらそう実行委員会」を立ち上げ、CO2の削減を市民に対して啓発しています。その中の取組の一つとして、市内の小学生を対象とした「環境かるた大会」を行いました。「日野市環境かるた」は、楽しく遊びながら環境についての標語の意味を考えられるようなものになっています。標語は、市内の小学生から募集し決定しました。

今年は、2年目の開催となりましたが、昨年よりもパワーアップし、約300人と多くの方に参加していただきました。子供たちも大会や練習を通して環境の大切さを感じてくれたようです。

【問合せ先】日野市 環境保全課 TEL:042-585-1111



3 利島村

公共緑地保全事業

Islands 利島村

利島村では、冬季の強風や塩害による倒木や腐食が多く見られるため、公共緑地保全事業を実施しています。定期的なメンテナンスをすることにより、被害を最小限にとどめることができます。公共の緑地である「はしけと海の歴史広場」、「南が山園地」に植樹した樹木を、剪定・管理し、保全しています。

なお、樹木の剪定や管理については、専門的な技術を要するため、専門の業者に委託し、樹木の適正な育成・管理を図っています。

【問合せ先】利島村 総務課 TEL:04992-9-0011



多摩交流センターだより

第20回 多摩の歴史講座 終了報告

本紙8月号(No.35)で募集した「第20回 多摩の歴史講座」(東京市町村自治調査会・たましん地域文化財団共催)は、平成28年9月23日から11月18日にかけて隔週金曜日に全5回の講座を開催し、30歳代から80歳代の100名近くの受講生の皆様にご参加をいただきました。

この講座は、歴史と文化の宝庫である多摩地域にスポットをあてた連続講座で、本年度は「多摩の名主たち」をテーマに、第1講から第4講は多摩信用金庫府中支店会議室で講義を、第5講は町田市小野路にある小島資料館で講義及び周辺の見学会を実施しました。



▲毎回、充実した講座でした。

第1講
(9月23日)

「熊川村名主石川家に見る幕末維新期のリーダー像」では、中央大学文学部兼任講師の牛米努氏にご登壇いただき、冒頭、近世の村と百姓、名主の関わり合いや組合等、総論的な講義があり、その後今回のテーマである熊川村の石川家が名主に加え地域の惣代として活動した、幕末・維新期の活躍について講義をいただきました。

第2講
(10月7日)

「武蔵野新田の惣代名主一関前村井口家を中心に」では、武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館学芸員の米崎清実氏から、関前村を開村した井口家、村での強大な力が次第に小前百姓を中心としたものへと変化していく中、村の外である武蔵野新田に活躍の場所を求めていったことを御門訴事件にスポットをあて、詳しく解説していただきました。

第3講
(10月21日)

「古新田と武蔵野新田の豪農—小平から豪農のヴァリエーションを考える—」では、国文学研究資料館プロジェクト研究員の三野行徳氏から、小平の歴史について小川村を開拓した小川家がどうやって村を拓いたか、またその後、小川家はどのようになっていったかを中心に解説があり、さらには、武蔵野新田でのさまざまな開拓者についての講義もいただきました。

第4講
(11月4日)

「連光寺村名主富沢家をめぐる地域と社会」では、淑徳大学アーカイブス主任専門員の桜井昭男氏により、富沢家がいつ頃、どのようにして連光寺村の名主になったのか、また村や地域で富沢家がどのような活動をしていたのかを当時の日記や書物等により、詳しく解説していただきました。

第5講
(11月18日)

「小島家の学問とその伝播—信州蚕種商との交流から—」では、町田市小野路にある小島資料館の小島政孝館長から全体講義をいただいた後、2班に分かれ小島館長の解説による資料館見学と、小島日記研究会の重政文三郎氏の解説による小野路一里塚、小島家の墓所、小野神社等の資料館周辺見学が行われました。

資料館は、当時の小島家を改修し保存されています。小島館長の解説を受けながら、小島家代々の日記のほか、新撰組近藤勇、土方歳三らが天然理心流の道場で剣道に励んでいたころの資料や新撰組幹部として活躍したころの書簡など、貴重な資料を拝見することができました。



▲小島資料館での講義



▲小野神社の見学

今回の歴史講座でご講義いただきました講師の先生、参加されました受講生の皆様に厚くお礼申し上げます。次回も皆様の興味・関心を深めることができる講座を企画しますのでご期待ください。

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



1・2月開催予定の講座案内

155回 題名 マザコン將軍 徳川綱吉

日時 平成29年1月12日(木) 14:30から約1時間

講師 吉田 豊 氏(古文書インストラクター、江戸文化研究家)

内容 五代將軍綱吉は、幼時から学問(儒学)に励み、將軍就任後は幕閣や大名相手に頻りに儒学の講義を行っています。その一方で母親離れの出来ない小男という一面もありました。母の桂昌院が前代未聞の従一位に叙せられたのは「孝経」の教えに発すると察しますが、その実現運動中に関連して赤穂事件(忠臣蔵)が起きたと考えられます。赤穂事件の発生原因を新たな切り口から考えます。



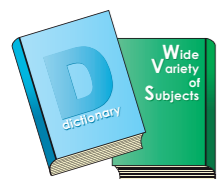
156回 題名 死生学の話～“理想的な死”とは? 日時 平成29年2月9日(木) 14:30から約1時間

講師 山本 思外里 氏(老年学研究家、東京都民間カルチャー事業協会顧問)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先: TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成29年2月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は2月9日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1072回	2月2日(木) 14:00から	台所と物理	大井 みさほ 氏 (東京学芸大学名誉教授)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1073回 ※	2月9日(木) 14:30から	死生学の話～“理想的な死”とは?	山本 思外里 氏 (老年学研究家、 東京都民間カルチャー事業協会顧問)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1074回	2月16日(木) 14:00から	植物の学名を読み解く ～リンネの“二名法”	田中 学 氏 (元東京都立高等学校教諭)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1075回	2月23日(木) 14:00から	忠臣蔵と仮名手本忠臣蔵	上村 いわお 氏 (演劇評論家)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1073回は、第156回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第108回

隠れているものが見えるかも ～祭や伝統的行事の“見える化”の試み～

【講師】 須知 まきのり 氏

小金井雑学大学理事、歴史古街道団事務局
長、武蔵野万葉会会員、古今の会会員。暦、和歌、古代史等を趣味として勉強しています。

【内容】 多摩地域で継承されている行事を通して、その由来や意義を探ります。

具体的には、稲城の「三匹獅子舞」を例に、その行事が実施される時期を「和暦」(太陰太陽暦、旧暦)に基づいて把握し、実施場所、登場人物は誰か? 使用される道具等は何か? どのような姿形で、またどのような色や数等で表現されているか? をご参加の皆さんと一緒に整理します。これらに基づいて、「なぜか?」を推理して、行事の意義を明らかにしてみたいと思っています。



日時 平成29年1月22日(日) 14:00～16:00
場所 多摩交流センター会議室
京王線府中駅北口 府中駅北第2庁舎6階
(府中市寿町1-5-1)
申込方法 当日会場にお越しください。
先着50名までとさせていただきます。
受講料 無料
問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾
TEL 042-335-0111

「多摩交流センターだより」の問合せ先

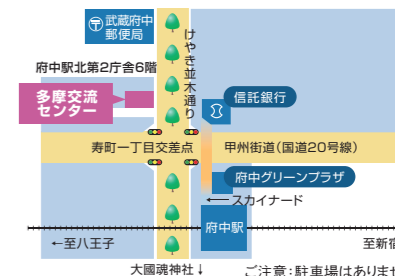
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- あけましておめでとうございます。
昨年、6月に英国の国民投票によるEU離脱決定、11月の米国大統領選挙でのトランプ氏勝利という世界を揺るがす出来事がありました。世界はこれから何が起こるのか予測のつかない、混迷の時代に突入しました。
- この二つの出来事に共通するのは、民意で決められたという点です。また、他者との協調よりも、自らの主張に基づき行動する「自国主義」の理念を支持するサイレントマジョリティの意思表示の結果である点も酷似しています。
- どちらの出来事も社会の変革に伴う痛みに対して、否定的に考える層を強くキャッチアップして成立しました。しかし、今や世界は、他者と協調しなければ国レベルでさえ維持できなくなっています。閉じた内向きの選択は、さらなる経済的窮地に陥る道であることを、専門家が論理的に試算し指摘しています。にもかかわらず、多くの人々が「今よりは良くしてほしい」というリーダーへの期待と希望的観測による選択を行った結果が、先の出来事であるとメディアは分析しています。
選ばれた指導者には、責任を持ってより良い方向を見出してもらいたいものです。
- 地方自治体は、このような激動の社会経済情勢のなかで、住民の福祉向上のために間違いのない道を進まなければなりません。特に、人口減少(少子・高齢)社会への対応は、もはや小手先では解決できず、根本的解決のためには地域社会の変革を伴う行動が必要になっています。自らの地域や個人的利益のみを考えるのでは解決は望めません。広域的・全体的な視点から俯瞰し、連携して行う対策こそが実効性を伴うものとなります。
- 東京ではオリンピックが3年余と目前に迫り、夏には都議会議員選挙も予定されています。地域の自立を目指す、先を見通した決定には、地域住民の理性的で勇気ある選択と協力が必要不可欠です。
- 未来に向けて一人ひとりがよく考え、持続可能なより良い地域社会をつくるために、待たなしの選択をする機会が目白押しとなりそうです。
今年も、当調査会は道標となる調査研究や先駆的な市民活動の支援などを通じて、多摩・島しょ地域の明るい未来づくりに資する活動を行ってまいります。
本年もどうぞよろしく願います。
(M.N.)





とっておきスポット

第28回 東久留米市

“ココ”
ご存じ
ですか?

東久留米市といえば、表紙の竹林公園を連想するかもしれないけど、
今回はわたげのボクが「七福神めぐり」を紹介するよ。

最近、神社やお寺をまわって御朱印を集める方が増えてるよね。東久留米市内にも御朱印をもらえるところがあって、その中に七福神が祀られているお寺があるんだよ。

多聞寺・米津寺・大圓寺・宝泉寺・浄牧院の5か所で、黒目川や落合川と南沢湧水群（東京の名湧水57選/平成の名水百選）の澄み切った清流を眺めながら七福神めぐりを楽しむことができるんだ。

お正月には、この七福神をめぐり一年の幸福・安全を祈願する恒例のウォークイベント「開運！東久留米七福神めぐり」が、市民の方の企画・運営で行われるんだ。

約8kmのコースでは、川の魅力の解説や道案内、東久留米ならではの特産品や楽しいイベントなど、実行委員会の皆さんが笑顔で「おもてなし」をしてくれるよ。

のどかな自然が残るコースと温かいおもてなしを楽しみに、みなさんもぜひ、ふわっと行ってみて！

第13回 開運！東久留米七福神めぐり
東久留米市役所 西武池袋線 東久留米駅西口より徒歩3分

開催日 2017年1月14日(土) ※雨天中止
※当日の開催は開催前までお知らせいたします。

スタート 東久留米西口中央公園 (東久留米駅西口より徒歩3分)
受付 9:30~11:30 ※受付開始前は整理券を受け取ります。10:00以降は受付終了です。

参加費 100円 (保険料込) ※当日の開催に際しては、開催前までお知らせいたします。詳細は「東久留米のふれあい情報サイト」をご覧ください。

行程距離 約8km (黒目川沿いの湧き水と清流を眺めながら、黒目川の清流を眺めながら)

コース 東久留米市役所にて15:00まで

基本コース
スタート: 西武池袋線 東久留米駅西口
多聞寺 (毘沙門天尊) 宝泉寺 (弁財天尊) 大圓寺 (大黒天尊) 浄牧院 (大黒天尊) 米津寺 (布袋尊) 大黒天 (大黒天尊) 立野川 (大黒天尊) 東久留米市役所

【主催】東久留米七福神めぐり実行委員会 【協賛】東久留米市 【協力】西武池袋線・JCOM西東京
【問合せ先】株式会社セイウン市民プラザ 電話 042-470-7813 (9:30~21:30)
最新情報はWebで! <http://kuru-chan.com/0519shichihuku/>

【現地案内】



- 「第13回 開運！東久留米七福神めぐり」**
平成29年1月14日(土)
歩行距離 約8km(約2時間)
※雨天決行、荒天中止(事前申込不要、当日受付場所へお越しください)
- スタート・受付場所: 東久留米西口中央公園 (西武池袋線東久留米駅西口より徒歩3分)
 - 受付時間: 9:30~11:30
 - 参加費: 100円(保険料込) ※詳細は「東久留米のふれあい情報サイト」くるくるチャンネル (<http://kuru-chan.com/>) をご覧ください。

【情報・写真提供】

東久留米市市民部産業政策課 TEL 042-470-7743(直通) 東久留米七福神めぐり実行委員会 TEL 042-470-7813(市民プラザ内)

【発行日】平成29年1月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】岸上 隆

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。